

教育プログラム・コースの概要

大学名等	富山大学大学院医学薬学教育部博士課程 アレルギー疫学研究養成コース				
教育プログラム・コース名	エコチル調査アレルギースペシャリスト養成コース（インテンシブ）				
対象者	医療従事者				
修業年限（期間）	2年				
養成すべき人材像	様々な小児アレルギー（喘息、鼻結膜炎、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーなど）を扱う医療従事者				
修了要件・履修方法	<修了要件> 必修科目2単位と選択科目を24時間以上受講すること。 自ら統計解析を行い、論文投稿までを修了要件とする <履修方法> 社会医学系専門医・指導医および生物統計家より直接個人指導を受ける。				
履修科目等	<必修科目> 臨床アレルギー学特論（2単位） <選択科目> 呼吸器内科実習（8時間）、小児科実習（8時間）、耳鼻咽喉科実習（8時間）、皮膚科実習（8時間）、眼科実習（8時間）、総合診療部実習（8時間）				
教育内容の特色等（新規性・独創性）	臨床疫学を学ぶ上で重要なのが方法論、すなわちその妥当性とデータの質にある。そういった意味ではエコチル調査はどの点をとっても最高水準にあり、小児アレルギーを学ぶ若手医療従事者にとっては理想的な題材である。解析および論文投稿を通して、データの解釈、統計的手法、データの表現方法に関して学ぶことができる。				
指導体制	富山大学大学院医学薬学研究部公衆衛生学講座スタッフ及び富山大学附属病院の内科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科の専門医が直接指導する。				
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	上記の指導体制とともに、常に若手研究員・研究支援員が数名在籍しているので、屋根瓦形式の教育プログラムを進めることができる。将来的には、小児アレルギーの臨床現場のみならず、大学での後進育成ができるリーダーを育てたい。				
受入開始時期	2020年4月				
受入目標人数	対象者	2019年度	2020年度	2021年度	計
	医療従事者	0	1	1	2
					0
					0
					0
	計	0	1	1	2

※教育プログラム・コースごとに作成して下さい。